

第1回定例会
3月議会

明石市役所新庁舎建設工事請負契約議案を可決

南海トラフ地震など災害に備え建て替え

令和10年度の供用開始目指し工事着手へ

令和7年第1回定例会3月議会が2月20日から3月25日まで開かれました。令和7年度明石市一般会計予算や、明石市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定のこと、明石市役所新庁舎建設工事請負契約のこと、監査委員選任の人事案件など、議案39件を可決・同意、報告5件を了承、請願4件を採択しました。

3月25日の本会議では、明石市役所新庁舎建設工事請負契約について原案どおり可決しました。

新庁舎整備については、令和2年に策定した基本計画に基づき、実施設計を取りまとめ、6年9月に入札を行いました。予定価格超過により不落となりました。その後、12月議会における約32億円の増額補正予算の可決を経て、7年2月に再度入札を行い、応募者1者

に対し審査を行った結果、約187億円で落札者として決定しました。契約締結後、7年5月頃から工事に着手し、10年度の供用開始を目指します。

審査を行った総務常任委員会では、委員から、今後の物価上昇による請負金額の増額の恐れや地域経済活性化への貢献について質問がありました。



市役所新庁舎（外観イメージ）

市からは、入札時の審査に建設資材高騰の影響を未然に防ぐコスト管理の項目があり、落札者からコストの上昇を抑制する提案があったほか、市内業者への発注や工事期間中の食事・宿泊等の諸経費拡充の意向が示されている。市としても市内業者への事業発注の機会を捉えて、地域経済の活性化に努めるとの答弁がありました。また、現庁舎は耐震強度が不足しており、南海トラフ地震等の災害に備え、多額の費用をかけてでも建て替える必要があることについて市民からの理解が得られるよう、丁寧に分かりやすく説明すべきとの意見がありました。



“もっと” やさしいまち明石を支えるボランティアの皆さん

単純指定ごみ袋

市内各地で説明会を実施し
令和9年3月から本格導入

生活文化常任委員会では、単純指定ごみ袋導入の進め方について報告がありました。

令和6年8月に無作為抽出した市民1300人とワークショップ参加者303人に、ごみ減量に関するアンケートを実施しました。袋代にごみ処理手数料を上乗せしない単純指定ごみ袋の導入に

ついて無作為抽出した市民の約4割から回答があり、そのうちの半数以上とワークショップ参加者の約9割から賛成を得ました。本市は、単純指定ごみ袋導入の検討を進めることとし、7年6月議会の条例改正案提出に向け、パブリックコメントを実施し、説明会やアンケートを行います。8年9月からの移行期間を経て、9年3月から本格導入する予定としています。

委員からは、単純指定ごみ袋導入の経緯や、どのように市民に理解を求めていくのかとの質問がありました。市からは、新ごみ処理施設建設に向け、ごみの減量を図る必要があり、単純指定ごみ袋を導入することが一番



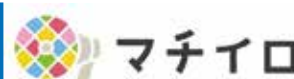
ごみを減らそうワークショップ

もくじ

- 2 会派を代表して5人が市政を問う 代表質問
- 3 対話と共創でつくる“もっと”やさしいまち明石 令和7年度予算の概要
- 4 市政を問う 17人が登壇 質疑・一般質問

- 5 請願・意見書
- 6 令和6年の市議会の活動 会期・議決事項件数
- 6 議員よもやま話

- 7 テーマごとに意見交換 議会報告会を開催
- 8 各議員の議案等に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧



市議会だよりを
スマホで読める



※利用にはアプリのダウンロード
が必要です

